

秋の一斉茅刈りは11月10日(土)、三村交流会in荻町は12月9日(日)、開催決定です！！

守る会ホームページ！！ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>

ね

そ

白川郷荻町集落の自然環境を守る会

発行 平成30年 8月号

自治保存会育成事業視察研修in篠山&美山！！

7月12・13日、合掌保存財団が主催する研修会に参加しました。今回は荻町でも今後課題となるであろう空き家問題に向けて、空き家活用や古民家再生に先進的に取り組む一般社団法人NOTEの取り組みを兵庫県丹波篠山にて。次に同じ伝建地区として、茅葺き屋根を守る京都府南丹市美山かやぶきの里、福井県小浜西組伝建地区を視察。17名の参加者より感想をお寄せいただきましたので、その一部を紹介し研修報告といたします。

◎丹波篠山・NOTE

- ・NOTEと地域NPOとの関係性がよく、信頼関係の中でそれぞれの役割を担い、住民に無理を強わず運営している雰囲気が伝わってきた。
- ・古民家の宿泊を稼働率30%で価格設定した初期投資、あえて高価格でレベルの高いお客様を誘客、といった考え方がすごい。
- ・「稼働率のコントロール」という発想は衝撃的だった。忙しすぎると心が追いつかなかったり疲弊したりする。ゆとりは大事。
- ・丸山集落は、故郷に帰ったような自然の中の暮らしを提供。外国人観光客にとって日本の歴史ある古民家はとても興味深い。
- ・その地域でしか過ごすことのできない「時間」を提供するという視点は、これからの白川の観光に欠かすことのできない考え方では。
- ・空き家問題にむけ、早い段階から課題解決に向けた取り組みを。「売らない・貸さない・壊さない」について荻町住民が真剣に話し合い、共通理解のもとに取り組むことが必要。行政と連携した取り組みを。
- ・小規模な丸山集落だけど、まとまりはすごい。荻町も学ぶべきところは活かしたい。荻町には先人よりつないできた結の精神がある。次代へつなぐ未来を育む里づくりが大事。力を合わせ頑張ろう。



[篠山市集落丸山を視察]



[NOTEの取り組みについて勉強会]

◎美山かやぶきの里

- ・日本昔話に出てきそうな素敵な集落。小さな集落に居住と観光がバランスよく配されていると感じた。地場のお土産があり、四季を通してお客様がお出でくださることに感謝し、美山のよさをもっと知ってもらいたいという住民の想い。私たちもそれを忘れないで、景観の保全に努め、おもてなしと感謝を忘れずお客様に接したい。
- ・高齢化に対して次の世代へとつなぐ努力をしている。屋根葺きを通して若い人材が移り住んでいる。バイタリティーあふれる美山茅葺株式会社中野社長の長年の理念が実現していることに感動。
- ・同じ茅葺き屋根でも、構造や材質、活用方、屋根葺きのやり方等合掌と同じ部分と異なる部分があり、面白かった。
- ・美山の職人さんから茅葺きのよさを聞き、合掌に住みたいと感じた。



[美山かやぶきの里を視察]

◎小浜西組伝建地区

- ・郷土愛にあふれたガイドさんの説明に感激。説明があると無いとでは、見学の印象がまったく違う。荻町でも更なるガイド養成が世界遺産の観光地としてのレベルアップや職の拡大につながると感じた。
- ・研修企画を財団に感謝。多くの住民に報告し広めたい。 [以上文責:和田]



[小浜西組伝建地区を視察]

リレーコラム①守る会への参画を通して思うこと、やってみたいこと（4番手）

「この村の素晴らしさを改めて感じる時間」

守る会西上組 三島 秀紀さん

リレーコラムということで、何を書こうか悩みましたが、今年度より守る会の一員となり、会に参加して感じたことを書かせていただきます。守る会に参加する前は、実際にどんな活動や会議を行っているのか何も分からず、とても難しいことを行っているのだというイメージが強かったです。正直会議に参加する前はとても不安でした。しかし、いざ参加すると大変勉強になることばかりで、合掌造りや景観を守るためには、守る会で行われる会議が大切だということが分かりました。先日行われた集落内の視察研修の中で、毎日生活していても気づかない場所や、言われるまで気にすることのなかった場所を発見し、普段当たり前の様に生活していた村はとても奥が深いのだと、新鮮な気持ちになりました。守る会に参加し、会長をはじめとする皆さんのような先輩になれるよう日々勉強したいと思います。（写真：祭は郷土をつなぐ活力！！）



リレーコラム②趣味に仕事に全力投球！その思いが白川村をつなぐ（3番手）

「白川村を担っていくために、今できることを実践したい」

～11月10日の茅刈りも、盛り上げたい！！～

和田 真樹さん

白川村に戻ってきて5年。青年会を通して守る会やいろいろな行事に参加させて頂きました。最初は人の名前が全然分からず苦戦しましたが、今ではK木先輩のアドバイスもあって、いろいろな人と交流を深めて行くことができています。今、屋根ふきの仕事をしていますが、最初は縄の縛り方やねその巻き方など知らない事だらけで大変でした。今では仕事にも慣れ大体のことはできるようになりましたが、やはり先輩たちのように上手いかない事が多々あります。一人前の葺き師になれるように見て、まねて、考えて実行して上達していきたいと思います。今後、若い年代が白川村を支えていかななくてはならない時が来ると思うので、その時まで色々なことを学んでいきたいと思います。茅刈りなど、守る会のイベントもたくさんあるようなので、参加するのもその第一歩なのかなと思います。（写真：財団研修にて、美山茅葺株式会社中野社長と）



今回は村に帰ってきて数年、様々な立場で地域に関わりながら、自分の生き方と向き合っている若いお二人にお話を伺いました。不安や葛藤がある中でも「参加」することに重きを置き、「経験」を通してきちんとご自身の中で成長されているのが頼もしいですね。身近な先輩方の存在も、彼らにとってとても大きいようです。世代を超えて地域をつくっていくことの大切さを、改めて感じました。【文責：福田】

守る会活動スローガン ～守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

＝ 7月の活動報告 ＝

- 7月 2日 世界茅葺会議打合せ会（役場 守る会役員）
 - 7月 10日 7月定例会・荻町集落めぐり
 - 7月 11日 ねそ7月号配付
 - 7月 12日 自治保存会育成事業視察研修（～13日、嶺山・美山）
 - 7月 19日 岐阜新聞取材（会長）
 - 7月 27日 オオハンゴンソウ除去作業（観光協会青年部）
 - 7月 30日 荻町合掌集落の景観に関する懇談会（公民館）
- ※ 9月の定例会は10日(月)、公民館にて開催を予定しています。

◎区民の皆様へ……建物や土地などの現状を変更する場合は、許可が必要です。必ず現状変更申請を行ってください。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は教育委員会に提出を。これは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんのご理解ご協力をお願い致します。

☆7月の協議事項（現状変更申請に関わって）☆

*****出窓取り付け

*****自宅前側2階窓取り替え